

## 令和5年度 学校評価結果について(ご報告)

保護者の皆様には、本年度も本校教育にご理解ご協力を賜りありがとうございました。さて、1月に実施いたしました、学校教育についてのアンケート結果の成果と課題についてご報告させていただきます。また、学校運営協議会においていただいたご意見もお知らせいたします。

### ○成果

#### (保護者アンケート)

- ・保護者の評価が一番高かったのが「学校は、授業参観や行事を実施するなど、開かれた学校づくりに努めている」で約90%が肯定的意見であった。これは、運動会、授業参観、人権発表会等を積極的に実施していることが評価されたと考えられる。また、「教育目標や教育方針を学校だよりやホームページ等でわかりやすく伝えている」も肯定的意見が高く、開かれた学校づくりや情報発信の取組が効果を上げている。
- ・「学校は、場に応じたあいさつや言葉づかい等の指導に努めている」で約90%が肯定的な意見であった。
- ・「学校は、子どもの体力向上に取り組んでいる」では、肯定的意見が約87%で、その中でも、「そう思う」の回答が約5%高くなった。徒歩登校や休み時間の外遊びの呼びかけ、持久走記録会などの実施が効果を上げている。
- ・「学校は、子どもに基礎・基本の学力が身につくよう指導している」では、肯定的意見が約83%で、約4%改善された。「いきいき学習」において、学校全体で、基礎・基本の定着に重点をおいた学習が効果的であった。

#### (子どもアンケート)

- ・「規則正しい生活をし、朝、昼、晩のご飯をきちんと食べている」で、「そう思う」と回答した児童の割合が、約9%増加した。10月から月1回、朝の活動の時間に各学級で実施している「すこやかタイム」の取組が効果を上げている。
- ・「先生は、勉強をわかりやすく教えてくれる」も約93%の肯定であった。引き続き100%をめざし、わかる授業づくりに励みたい。

### ○課題

#### (保護者アンケート)

- ・「学校は、読書意欲を高め、読書活動を活発にする取り組みを行っている」が改善されない。家庭で読書をする習慣が十分でないと考えている。
- ・「学校は、いじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる」「学校は、子どもに学校のきまりや社会のルールを守らせている」がやや否定的な回答が増えた。いじめのない学校づくりは、誰もが安全・安心して学校に通うことができる環境を整えることから始まる。これからより一層、人権教育を中心に据えた教育活動の充実を図っていききたい。

#### (子どもアンケート)

- ・子どもの評価で一番低かったのが、「家でよく本を読んでいる」である。「そう思う」「少し思う」と肯定的に答えた児童は55%であった。この傾向は数年間改善されていない。

### ○学校運営協議会でのご意見

- ・登校時、児童の元気のよい挨拶で元気をもらっている。引き続き、地域の人や保護者のみなさんへの挨拶を続けてほしい。

【全てのアンケート結果については、ホームページに掲載しています。】